

## 資料 3

# 認知症関連事業についての取組紹介

## ここらといのちのホットライン

「もう死んでしまいたい」「そんな気持ちで悩んでいませんか？  
一人でお悩みを一人で抱え込んでおられる方のサポートに  
応じます。お気軽にご相談ください。  
あなたの気持ちと向きあいましょ。

～あゆみのこらといのちを支える相談電話です～

**025-248-1010**

平日：17～22時 ②15で①0※33 ③24with5

土日祝日：10～16時（12/29～1/3：10～16時）

## 各区社会福祉協議会

お近くの各区社会福祉協議会でも、日常の困りごとの相談を受けつけています。お気軽にご連絡ください。

北区社会福祉協議会 Tel: 025-386-2778

東区社会福祉協議会 Tel: 025-272-7721

中央区社会福祉協議会 Tel: 025-210-8720

江南区社会福祉協議会 Tel: 025-250-7743

秋葉区社会福祉協議会 Tel: 0250-24-8376

南区社会福祉協議会 Tel: 025-373-3223

西区社会福祉協議会 Tel: 025-211-1630

西蒲区社会福祉協議会 Tel: 0256-73-3356

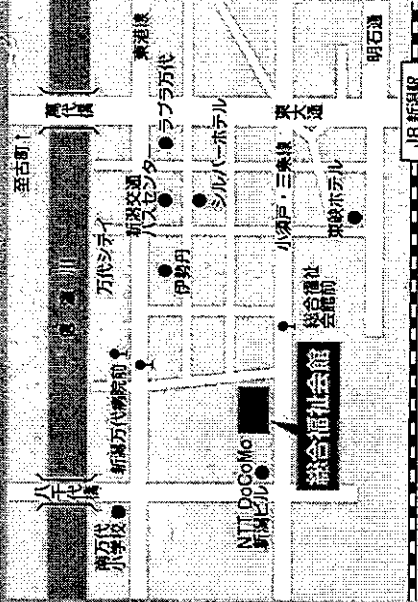
新潟市社会福祉協議会（法人本部）

〒950-0909 新潟市中央区八千代1丁目3番1号 新潟市総合福祉会館3階

Tel: 025-243-4366（代表） Fax: 025-243-4376



## 周辺案内



〒950-0909 新潟市中央区八千代1丁目3番1号  
新潟市総合福祉会館1階

## 交通の案内

### バス

新潟駅から

- 水島町線(路線番号S30)県庁前若菜由菜共同庁舎ゆき  
総合福祉会館前バス停下車
- 新大病院線(路線番号C80)川端町稲由新大病院ゆき  
新潟万代病院前バス停下車
- 八千代橋線(路線番号C80)船形町稲由入船営業所ゆき  
新潟万代病院前バス停下車

### 徒歩

新潟駅から徒歩15分(約600m)  
バスセンターから徒歩10分(約400m)

高齢者から障がい者まで  
ワンストップでお応えする。

# 福祉総合 相談センター

●あんしんサポート新潟(日常生活自立支援事業)

●新潟市成年後見支援センター

●新潟市高齢者あんしん相談センター

●新潟市障がい者福祉相談支援センター-中央

●心配ごと相談所

●子育てなんでも相談センター-きらきら

高齢者の方から、障がい者の方まで、

あらゆる福祉課題の相談にワンフロア・ワンストップで

対応する総合相談窓口として、

新潟市総合福祉会館1階に「福祉総合相談センター」が

開設されています。

このリーフレットでは、福祉総合相談センターの

相談事業について、簡潔に説明させていただきます。

## 新潟市障がい者基幹相談支援センター中央

**センター趣意、説明、PR**  
障がいのある方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、各種相談や情報提供などの支援を総合的に行う公的な相談機関です。

**相談方法**  
●来所 ●電話 ●訪問 ●Eメール  
どんな方法でもご相談いただけます。

**窓口開設日・時間**  
○電話番号 025(248)7171 OFAX番号 025(386)7931  
○メールアドレス kikan-chuo@estate.ocn.ne.jp

**お問い合わせ先**  
火曜～土曜日 午前8時30分～午後5時15分  
※月曜日(例祭日)に当たる場合はその翌日、祭日も、年末年始(12/29～1/3)はお休みです。

## 心盟と相談所

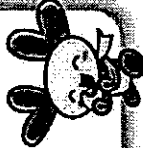
**センター趣意、説明、PR**  
あらゆる心配ごと困りごとの相談に、経験豊富なおおかつ人情味のある36名の民生委員が交代で相談に応じています。  
現代では失われつつある隣近所の人に相談するよるような気軽さが、ここではあります。  
弁護士による法律相談も行っています。

**相談方法**  
●来所 ●電話 ●来所 相談にかかる費用は無料です。初回は固く守られます。

**お問い合わせ先**  
○電話番号 025(243)4369 OFAX番号 025(248)7182

**窓口開設日・時間**  
【一般相談】(民生委員による、来所または電話での相談となります)  
火曜～土曜日 午前9時～午後4時

**お問い合わせ先**  
【法律相談】(弁護士による、予約制の来所での相談となります)  
毎月第1・3土曜日 午前9時～午後12時  
※月曜日、月曜日(例祭日)に当たる場合はその翌日、祭日も、年末年始(12/29～1/3)はお休みです。



## 新潟市高齢者あんしん相談センター

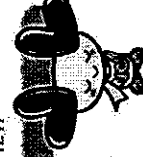
**センター趣意、説明、PR**  
新潟市高齢者あんしん相談センターは、高齢者が住み慣れた地域で健康で生きがいを持って、いきいきとした生活ができて、介護が必要となっても安心して暮らすことができるよう、高齢者を総合的に支援することを目的としています。  
また、高齢者の必要としていて様々な様々な福祉サービスの情報を収集し、提供いたします。

**主な相談内容**  
在宅介護、買い物支援、生きがい、健康づくり、認知症・成年後見制度、高齢者虐待など  
その他、高齢者に知するあらゆるご相談をお受け致します。  
些細なことでも、おひとりでも、お気軽にご相談ください。

**相談方法**  
●来所 ●電話  
相談にかかる費用は無料です。初回は固く守られます。ご相談についての事前予約は不要です。

**お問い合わせ先**  
○電話番号 025(248)6283 OFAX番号 025(249)1217

**窓口開設日・時間**  
火曜～日曜日 午前9時～午後5時  
※月曜日(例祭日)に当たる場合はその翌日、年末年始(12/29～1/3)はお休みです。



## 子育てなんでも相談センターきらきら

**センター趣意、説明、PR**  
新潟市に住む子育て世代の方々から、「どこに聞いたらいいかわからない」「悩みが多くても話を聞いてくれるところがない」との声を多く寄せられました。  
そこで、近所に住む親や知人に聞くような気軽さで、誰もが相談できる窓口を、「子育てなんでも相談センターきらきら」を開設いたしました。  
なんでも聞いてほしい☆子育てのこと

まずはお電話でご相談ください。安心して子育てができるように、子育てに関することなどあらゆる些細なことでも相談をお受けします。  
お話を伺い、一緒に考え、必要な情報をお伝えし、相談内容によっては専門機関へおつなぎします。

**相談方法**  
●電話(平日8時30分～午後5時15分)  
●FAX・メール相談(24時間受け付けます)

**お問い合わせ先**  
○電話番号 025(248)2220 OFAX番号 025(248)2211  
○メールアドレス kirakira@syakyo-nlgatcity.or.jp

**きらきらサイト**  
子育てに役立つ情報が満載の「きらきらサイト」  
イベント情報や、口コミ情報、子育て支援団体の紹介等掲載してあります。ぜひ、こちらをご覧ください。  
URL: <http://www.nlgata-kirakira.jp/> 子育てなんでも相談



## 新潟市成年後見支援センター

**センター趣意、説明、PR**  
判断能力が不十分なため、自分ひとりで契約や財産の管理などをすることが難しい方が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように「成年後見制度」利用の相談、助言を行います。  
【お忘れがあり、財産管理がうまくできない】  
【知的障がいのある子を見守る親族がいなくなった後が心配】  
このようなきときは、お気軽にご相談ください。

**相談方法**  
●来所 ●電話にて受け付けています。

## あけびんサポート新潟(日常生活自立支援事業)判断能力が不十分の方の日常的な金銭管理、福祉サービス利用援助

**センター趣意、説明、PR**  
認知症や知的障がい、精神障がい等により、判断能力が不十分な方に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類のお清りをお手伝いし、あけびんとして地域で生活できるように暮らすのサポートを行います。お近くの各区社会福祉協議会でも相談をお受けしています。

**相談方法**  
●来所 ●電話にて受け付けています。

**お問い合わせ先**  
○電話番号 025(243)4416 OFAX番号 025(243)1217  
○メールアドレス kentan@syakyo-nlgatcity.or.jp

**窓口開設日・時間**  
月曜～金曜日 午前8時30分～午後5時15分  
※土曜日、月曜日(例祭日)、年末年始(12/29～1/3)はお休みです。  
※月曜日(例祭日)に当たる場合はその翌日、年末年始(12/29～1/3)はお休みです。

# 若年認知症 介護家族と本人のつどい

## —参加者募集します—

日 時 平成29年3月11日(土) 13:30~16:00

会 場 新潟市総合福祉会館 (新潟市中央区八千代 1-3-1)  
(電話 025-248-7161)

助言者 成瀬 聡 先生  
(みどり病院 病院長、神経内科医、新潟市認知症サポート医)

参加者 若年期認知症のご家族、ご本人、携わっておられる関係者の方

参加費 300円(資料代)

### 介護家族と本人が孤立しないために・・・

18歳から64歳までに発症した認知症疾患(アルツハイマー病、脳血管型、前頭葉型、頭部外傷後など)を総称して若年認知症といい、日本全国では約4万人が存在するのではないかとされています。高齢者の場合に比べて働き盛りに発症することで経済的な問題が大きいのしかかったり、家庭内の役割のすべてを負うことになってしまう配偶者の負担はより大きいものとなります。記憶がなくなる苦しみや辛さに寄り添う一方で、これからどうなるのかという不安な気持ちから、病気のことを隠そうとしておられる人もいるかもしれません。

今回、若年認知症のご家族とご本人を対象に悩みや思いを語り合い、病気について共に学ぶために「つどい」を開催します。

#### ご本人の参加も大歓迎です。今、ご本人が語る時代です。

(お疲れになりましたら、別室を用意しております。ご本人が楽しく過ごせるようにサポーターが付き添います。)

#### 私達は介護家族とご本人が孤立しないですむようにと願っています。

どうぞお気軽にご連絡、ご参加ください。お待ちしております。

※ 若年認知症の方のつどいと、通常のつどいは別室にて行います。

### 【連絡・問い合わせ】

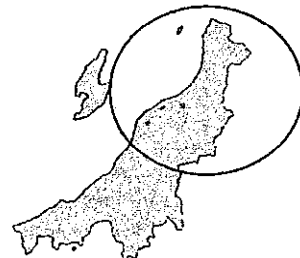


- 支部事務局 糸魚川市竹ヶ花45 金子方  
電話/FAX 025-550-6640  
Eメール yumiko21@abeam.ocn.ne.jp
- 等々力 新潟市寺尾西4-9-6  
電話 025-269-2282  
Eメール t\_todoriki7@yahoo.co.jp

**主催：公益社団法人 認知症の人と家族の会 新潟県支部**

## 公益社団法人 認知症の人と家族の会 ～新潟県支部・下越エリア～

介護疲れ していませんか？  
認知症について語りませんか！  
ぼけても安心して暮らせる社会を！



「認知症の人と家族の会」は、認知症の人と介護家族並びに「認知症」に関心を持つ

人々による自主的な団体です。全国各地にも支部をもち、新潟県では平成8年3月に発足しました。

介護保険がスタートしてから介護事業者が急増したことは介護を受ける当事者自身の生活の質の向上につながりました。しかし、在宅介護がいくら充実しても、当事者の方が在宅で幸せに暮らすためには、介護されているご家族が心身共に健康であることが大切です。

そのため、介護家族の方が自分の心の底にある苦悩を打ち明けて、心から安らぐことのできる場所として介護者の家族の会の存在は重要であると思います。自分自身の介護の苦労話を遠慮せずに打ち明けることができる相談相手があることは、心の健康を保つために大切なことです。もし、辛い気持ちを一人で抱えていては暗い気持ちになり良い介護はできないでしょう。また、在宅介護の経験者だからこそ心から共感し合うことができます。

毎日の介護に心身共に疲れ果てている家族の方の負担を軽減するには介護サービスの利用だけでなく家族の会での心のケアは大切であると思います。



「つどい」の開催日は裏面をご覧ください。



ご相談や照会は下記の連絡員までお問い合わせ下さい。

等々力 (新潟市西区) 025-269-2282 田 辺 (新潟市中央区) 025-244-0769

寺 尾 (新潟市東区) 090-4952-9526 豊 永 (新潟市西蒲区) 025-375-3631

国 井 (新発田地区) 090-4062-1715

公益社団法人 認知症の人と家族の会 新潟県支部副代表(下越エリア担当) 等々力 務

## 平成29年度 下越の「つどい」予定表

介護の悩み相談、情報交換、温泉旅行などで参加者の交流をはかります。

開催日		会場	住所	電話番号	主な企画
4月	8日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	家族交流会
5月	13日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	家族交流会
月	日	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-527-3611	【午前】総会 【午後】講演会
6月	10日 (土)	施設見学	(会場未定)		施設見学 + 家族交流会
7月	8日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	家族交流会
8月	19日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	若年認知症のつどい(※) アドバイザーとして専門家をお招きします
9月	9日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	
10月	14日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	家族交流会 看取り終えた方のつどい(※)
	(未定) (日)	新潟市民健康福祉まつり	新潟市万代『万代シティパーク』 (バスセンター2階)		『家族の会』も参加します。
11月	11日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	家族交流会
	20日 (月)	日帰り温泉旅行	(場所未定)		
12月	9日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	家族交流会
1月	13日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	家族交流会
2月	10日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	家族交流会
3月	10日 (土)	新潟市総合福祉会館	新潟市中央区八千代1-3-1	025-248-7161	若年認知症のつどい(※) アドバイザーとして専門家をお招きします

(※)10月14日の「看取り終えた方のつどい」と8月19日・3月10日の「若年認知症のつどい」では、別室にて通常のつどいも行います。

◇開催日、会場は変更になることがあります。連絡員にご確認下さい。

◇家族交流会は午後1時30分から午後4時位まで集まっています。

◇参加費：家族交流会はお一人300円です。

## 新潟県看護協会認知症関連事業の取組について

平成29年3月7日(火)

### ◎ 看護の質の向上のための教育研修事業

#### 1 日本看護協会インターネット配信研修 (3回実施) ★

- (1) テーマ 「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」
- (2) 目的 国の施策や医療の現状を理解するとともに、入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を学ぶ。
- (3) 対象 県内の医療機関に勤務する看護職員
- (4) 会場 第1回 新潟医療人育成センター 第2、3回 新潟県看護研修センター
- (5) 開催日及び終了者数

第1回	平成28年7月8日、9日	260人
第2回	平成28年10月13日、14日	170人
第3回	平成28年12月6日、7日	123人

※ 当初1回開催予定であったが、「認知症ケア加算2」の施設基準に対応する研修会のため受講要望者が多く、開催回数を2回追加している。

#### 2 新潟県委託事業「新潟県認知症地域医療支援事業」

- (1) テーマ 「看護職員認知症対応力向上研修事業」 ★
- (2) 目的 指導的立場にある看護職員が所属施設において、医療従事者に対し認知症に関する知識を普及する力を習得する。
- (3) 対象 県内の医療機関に勤務する指導的役割の看護職員
- (4) 会場 新潟県看護研修センター
- (5) 開催日及び終了者数

平成29年1月14日、21日、22日	72人
--------------------	-----

#### 3 新潟県委託事業「訪問看護従事者研修会(実践編)」

- (1) 目的 訪問看護の実践に必要な最新の知識・技術を学ぶ。
- (2) 対象 訪問看護に従事している看護職員等
- (3) 会場 新潟県看護研修センター

※全13日開催 1日認知症をテーマとしている。

在宅医療・地域包括ケア推進に向けて受講希望者が増加している。

★「認知症ケア加算2」対応研修

南浜病院における精神科救急入院料病棟と認知症への対応

- H28年4月 新病棟を新築
- 60床全室個室(1階と2階で1単位病棟)
- 1階:急性期対象;保護室9床、一般個室18床、特室1床、PICU(精神科集中治療室)1室、リハビリ一室1室
- 2階:回復期対象;一般個室31床、特室1床、心理社会療法室(OT、SST、心理教育、回想法等)1室
- 10対1看護(夜勤帯、1階2名、2階2名の計4名配置)
- 専従の精神保健福祉士2名

特長

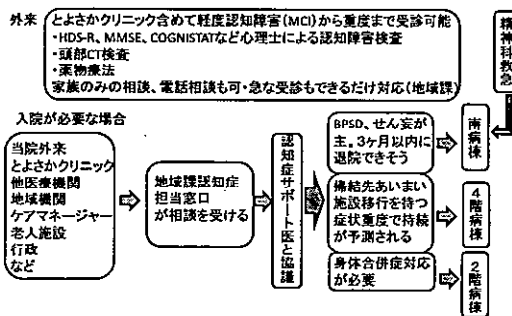
- 大きなホールがないので食事は各部屋かミニデイルーム(8人まで)・ユニットケア
- 急性期からの心理教育、SST、作業療法、回想法など心理社会的治療の導入(隔離中でも時間開放であれば付き添いで心理教育プログラム参加:心理教育は8回1ケールで年6ケール)
- モニターカメラを使用しない
- 身体拘束はほとんど使用しない
- 全室個室:プライバシーの確保と認知症患者さんでも他室への迷惑が少ない

診療体制

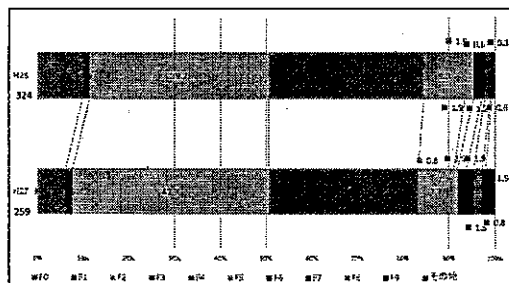
- 医局体制
- 救急当番(年間156日)での入院:当直医が入院決定→主治医は3名の精神科医が輪番で担当
  - 措置入院は精神科医7名の輪番
  - 平日の外来は新患番を2番目で設定
  - 複数診療体制
    - 院長回診週1回(新入院と退院予定者)
    - 救急病棟相談医回診週1回

- 看護体制:師長主任(14名)で看護当直:準夜・深夜の二人体制  
 PSW体制:救急病棟2名専従・休日の救急当番日には全員で当直  
 医局事務2名(医療クラークの有資格)  
 認知症対応フロー:担当PSW+認知症サポート医の病棟振り分け

当院における認知症対応



救急(28年度)・急性期(27年度)病棟診断名別比較 4月~1月



南浜病院における救急病棟での治療

- 平均2ヶ月弱くらいでの退院
- 新規患者としての入院、退院率の維持のためには退院後3ヶ月以上の在宅が必要(再発・再入院予防)
  - できるだけ早い関係づくり:初期の必要な鎮静と症状安定のための適切な薬物療法・薬剤選択
  - 入院した時点から退院と再発予防を見据えた多職種による治療(チーム医療)
  - H29年度より重症者早期集中治療加算導入予定



## 薬剤師会 認知症関連の取り組みについて

文責：川俣 春江

薬剤師会では、主に在宅医療委員会の取り組みとして行っています。  
2016年度の取り組みを紹介します。

### 1) 薬剤師認知症対応力向上研修事業

3年くらい連続で研修会を開き、多くの薬剤師が研修終了となるよう取り組む。

2016年9月25日（日）朱鷺メッセ

修了者 168名

H28年度地域医療介護総合確保基金事業の一環として開催

H28年2月厚労省老健局総務課認知症施策推進室で開催した研修会の伝達講習

### 2) 認知症サポーター養成講座

2016年7月28日（木）ユニゾンプラザ

参加者 61名

中央区区役所健康福祉課高齢介護課 広井氏、姥が山包括支援センター岡田氏、  
内山氏、認知症支援の必要性について林氏より講演

3) 各薬局独自で 認知症サポーター養成講座を開催し、事務職含め認知症への理解を深めることもしているが数などは把握していない。

4) 各種在宅のカンファや研修会に積極的に参加

5) 薬局窓口において、「話がかみ合わない」「少しおかしい」「話を取り繕う」「残薬が沢山ある」などは、医師や包括に繋げる、また自宅に訪問し状況把握などする。  
残薬バック作成、残薬をバックに入れ持参してもらう。

## 2017年度計画

1) 薬剤師認知症対応力向上研修事業 10月

2) 多量投薬者や重複投薬者の訪問相談

服薬新潟県後期高齢者医療広域連合が事業主体、薬剤師会は協力